

市指定

所在地：遠方

もくぞうかんのんぼさつりゅうぞう

## 木造観音菩薩立像

穏やかかつふくよかな面相で静立する。右手は肘を折り胸前で掌を前に向け、第1、2指を捻じる。左手は腹前で掌を立て持物（蓮華）を捧げるポーズをとる。豊満な腰つきや肩のなだらかなカーブ、大きく前に垂らした裳や曲線を多用した衣がこの像の特徴である。台座、漆箔は後補と見られる。

当像は、ともに安置される阿弥陀如来坐像と同じく平安時代後期の作風を示し、もとは勢至菩薩を加えて阿弥陀三尊として祀られていた可能性がある。

阿弥陀堂所在。

像高95cm。

